

徳島往診クリニック（在宅緩和ケア充実診療所）

在宅緩和ケア充実診療所とは、機能強化型の在宅療養支援診療所の中でも、特に緊急往診・在宅看取りの実績が評価され、麻薬の使用経験に富んだ医療機関です。

～在宅緩和ケア・在宅輸血・在宅嚥下検査～

【自宅で提供可能なケア】

1. 定期的な訪問診療と訪問看護
2. 24時間対応の緊急往診・電話相談
3. お薬の宅配
4. 痛みの緩和
※麻薬の使用も問題なく可能
5. 在宅酸素療法
(人工呼吸・痰の吸引)
6. 経管栄養(胃ろう)
7. 点滴・中心静脈栄養
(IVH・CVポート)
8. 腹水・胸水の処置・腹膜透析・腎ろう
9. 在宅での入浴等、介護保険の利用
10. 病院や施設ホスピスと連携したケア
11. 在宅での看取り

輸血が必要な患者様にも
在宅医療をとの思いで、
在宅専門医ならではの
診療と24時間体制の
サポートを実現

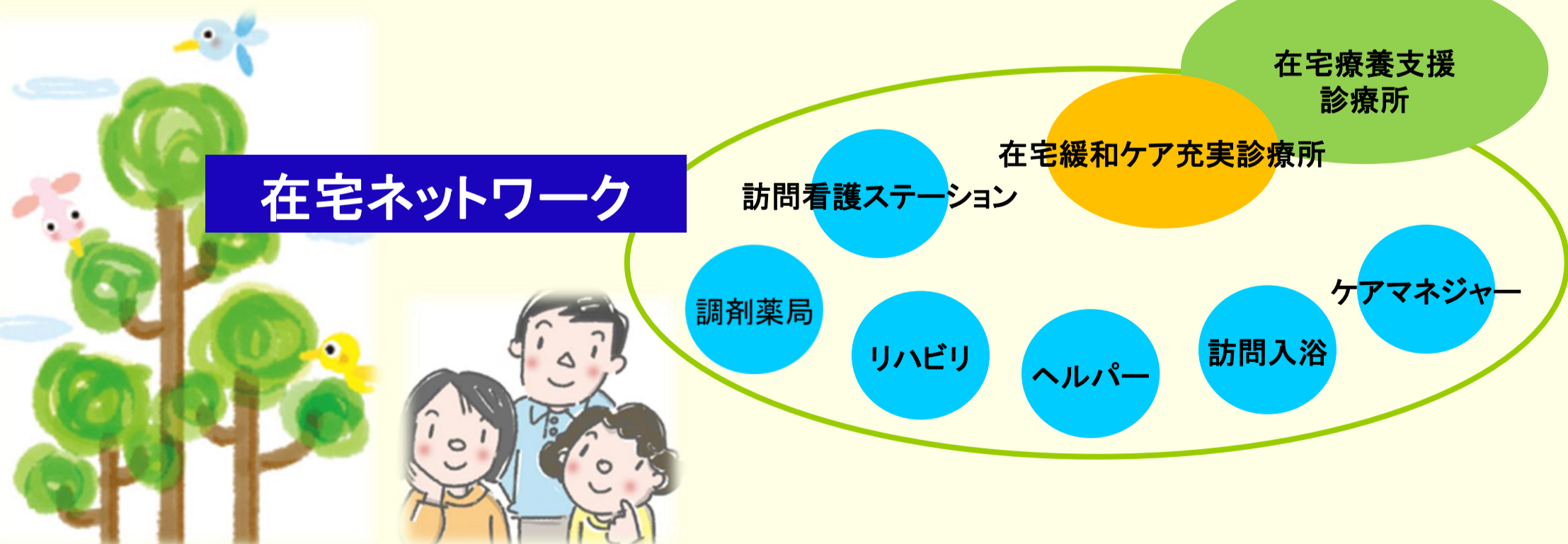


在宅緩和ケアに専門的に関わる施設へのアンケート調査で、がんの終末期患者さんの在宅療養期間は**わずか30日**に過ぎないということが判りました。このことは、患者さん側の「自宅で長い間寝たきりになったりしたら、家族に大きな迷惑をかけてしまう」、あるいはご家族側の「ホントに最後まで介護ができるのだろうか」といった心配を軽くしてくれます。

充実した人生の終わりをご家族と共に過ごすためには、最期の30日を頑張ればいいのですから。

人生の終末期を過ごす場所として、緩和ケア病棟や施設に入ることに他に、「**ご自宅**」を選択することも可能です。

一般的に、「急に悪くなった時のために、入院しておこう」とか「家族の介護が大変だから入院しよう」といった考えに至る事が多いのですが、「思い切って最期まで自宅で過ごそう・過ごさせてあげよう」という選択肢を実現させるため、我々、在宅専門医や訪問看護師が在り、社会資源としての在宅ネットワークが活用できるのです。



当院では上記の他に次の取り組みをしています。

相談先として：
・入院中
⇒病院の医療ソーシャルワーカー
・在宅療養中
⇒地域包括支援センター
要介護認定あればケアマネジャー

1. 在宅輸血：対称となる疾患・骨髄異形成症候群・白血病・悪性リンパ腫・再生不良性貧血・慢性腎不全・胃癌、大腸癌、膀胱癌等からの慢性出血・癌の骨転移、化学療法に伴う骨髄抑制など、ご自宅で、**赤血球や血小板の輸血**をしています。

2. 在宅での嚥下機能検査・嚥下リハビリテーション

当院では耳鼻科の専門医がご自宅に訪問して、内視鏡により嚥下機能の検査をしています。